

振興会 だより

令和7年2月27日発行
編集・発行 振興会
羽田地区センター
羽田地区

第3次コミュニティ計画

アンケート結果HP上に掲載

第3次コミュニティ計画に係るアンケート調査は、集計・集約を工程表の予定どおり、1月中旬に完了しました。アンケート結果は、羽田地区センターHP上に掲載しましたので、どうぞご覧ください。

又、「振興会だより」2、3月号に、集約した意見、アイデア等を、A4版3面で掲載します。紙幅の関係で、要旨を簡潔にまとめ、且つ、主な内容に限られますことを、予めご承知おきください。

2月に入り、工程表に従い、課題と解決策の検討に入っております。振興会4部会の第2回部会に併せて、主としてアンケート結果から読み取れることをまとめていきます。なお、会議の席上、40代の策定委員から、大変貴重なご意見を

をいただき、非常に心強い思いをしております。また、50代の策定委員からは、第3次計画の骨組に関するご意見をいただいております。

今後、策定作業は、振興会の4つの部会が、それぞれ課題解決のための事業等の検討、事業等の優先順位を検討します。この作業が、第3次策定の山場となります。

6年度協働のまちづくり 交付金に係る事業が完了

令和6年度の「協働のまちづくり交付金事業」が完了しましたので、お知らせします。各事業の事業名、事業の概要の順に列記します。

- 1 歴史・伝統文化継承
「化石」の地名由来の案内板の更新
- 2 歴史・伝統文化継承
北上夜曲発祥の地・歌碑案内板の新設
- 3 環境整備・安全確保
歴史継承建造物(羽黒山の木造

地域活動員の服務について


現在、働き方改革が叫ばれていますが、また、労働者を手厚く保護する法整備が、国会で進められております。地区センターにおきましても、センター職員の業務と服務に係る内容の見直しを進めています。

以上に鑑み、地域活動員の服務に係り、休日等の勤務は極力避けるべき、との方針に至りました。土日祝日の行事の取材依頼等には、対応できかねますことを、ご理解いただきたく思います。なお、電子媒体等でデータをいただければ、「お知らせ版」に極力掲載させていただきます。

のろし台の撤去

- 4 環境整備・安全確保
刈払い機の替え刃更新
 - 5 住み良いまちづくり
鶴ノ木行政区の集会施設の設備整備
 - 6 賑わいのあるまちづくり
釜石市のトラック市の研修視察
 - 7 歴史・伝統文化継承
東海道(歴史の道・ロマンの道)の案内冊子(『東海道マップ』)作成
- 以上、7項目となります。
- なお、各行政区におかれましては、7年度の事業を検討願います。

水沢江刺駅開業 40周年記念式典開催



おかげさまで
水沢江刺駅開業40周年

東北新幹線水沢江刺駅は、昭和60年3月14日、地元請願駅として開業し、今年3月で開業40周年を迎えます。

これを記念して、羽田地区振興会とJR水沢江刺駅は、開業40周年記念式典を開催します。以下、その概要

日時 令和7年3月15日(土) 10時〜

会場 JR水沢江刺駅 正面西口広場

内容 子ども1日駅長 辞令交付、記念イベント(伊藤流行山鹿踊保存会、よさこいチーム「繫縁」による演舞披露)、祝賀餅まき、等

東北新幹線水沢江刺駅は、奥州市の表玄関口として、奥州市に計り知れない多大な有形、無形の貢献をしてきました。皆さんで、祝いたいものです。詳細は、別紙チラシで。右上は、駅に掲出された横断幕です。

第3次コミュニティ計画アンケート結果 ★「住みよいまち 住みたいまち羽田」

- ・「住みよいまち」にするには、小さな活動を数多くすることだと思う。みんなの意見が実現されると心が開かれ、心の交流が始まる。相手を思いやる心が充満して助け合いが出てくる。お互いに助けたり、助けられたりの生活が、住みよいまちにする基本だと思う。みんなで考え、判断し、みんなで行うことを始めるべき。
- ・基本的に先細りすることが目に見えているので、少人数・少労力でできる形の取り組みを目指して考えるのが良いのではないかと思う。
- ・スーパー、ドラッグストア、ホームセンターなど1つでも誘致。買い物に不便。水沢江刺駅（多くの人利用）、複合施設（奥州ゆかりの記念館、例えば大谷記念館、ガソリンスタンド、産直、イベント広場、屋根付きギャラリー、美術館、ビジネスホテル等）
- ・東北新幹線水沢江刺駅がある地を活かし、奥州市と連携し、まちづくり活性化プロジェクトを立ち上げてほしい。奥州市の支援が必要。
- ・駅前も駅東も寂しすぎるので、駅東に道の駅とか地区センター・児童館も一緒になった建物があると、みんなが集まれる場所ができてよいと思う。空き家を活用して、羽田の人たちが食事をできたり、お茶をしながらおしゃべりをできる場所（コミュニティーカフェ）みたいな場があったらよいと思う。
- ・花の咲いている道路や町、やさしい思いやりのある町、いつも笑顔のある町、ゴミの無いきれいな町を望む。
- ・商業化の開発を早急に実施。人が集まる場所がないと、人口減少が進む一方となる。
- ・鋳物屋台の活用は？鋳物祭り10月、躍進祭り11月と、春～秋までの町おこしが何もない。駅周辺の駐車場問題、農道への駐車にて事故の懸念もある。
- ・12行政区あるが、どこかのタイミングで5～7行政区にまとめて人口の均等化を図ってほしい。
- ・新幹線で最初に降り立つのが羽田町→駅で名所を確認→先ずそこへ足を運んでから→目的地へのパターンへ。
- ・町の中が静かなので町の中を活用し、年2回ぐらい歩行者天国にして店を出す。南部鉄器もまとめず、個人の鉄器ごとに店を出す。食べ物屋も。クラフト市。自衛隊の音楽隊、警察の音楽隊を呼ぶ。
- ・人口減の時代にあって、この流れは止めることはできない。よって、今いる方々が安心・安全に暮らせるまちづくりに特化すべきと考えている。よって、防災対策と有事の際の助け合いの態勢の構築に注力すべきと思われる。正直マンパワーが不足しているので、どこかに集中して住民の力を注ぎ込まないと中途半端になる。それが、「防災」と「災害時対応」であると思う。
- ・人口減少の中、いろいろな部会をつくり、一人ひとりの負担になっていることもある。働き盛り、子育て世代の負担を少なくし、80代でも90代でも元気な世代にボランティア程度で参加することで、生きがいや楽しみになれるような仕組みにしていく。
- ・国・県・市等に助成金があれば、利用できることが早道。奥州市の中で羽田地区がどれだけ注目されているかをアピールする必要がある。鋳物をバックアップする必要があり、施設では、Zアリーナ周辺の環境整備、市との協力で駅に大谷翔平の銅像を設置し、全世界に発信するのもいいかも。
- ・まずは人口を増やす対策です。若い人たちに羽田町に住んでもらうためには何が不足しているのか？例えば、新幹線駅があるのに、交通の便がいいのに、ただ町内には新築の家が増えないのはなぜなのか？道路が狭くて家が建てられない、町の中に公園がない、若い夫婦と子供の遊び場がない。
- ・駅周辺又は国道397号（高架下付近）へ道の駅又は産直などの検討はいかがなものか？
- ・駅周辺に商業施設があると賑やかな印象を与えるのではないかと思う。身近に買い物ができる場所が無くなり、移動手段が無い高齢者は不便なのではないか？若い人たちを呼び寄せる核になるような場所も兼ね備えていれば、老若男女を問わず、今よりも羽田に活気が出てくると思う。
- ・故郷ですし、住みよいとも思っています。でもたいていの人は“住みたいまち”ではないんですね、どうしてかな？一人ひとりが丁寧に暮らせば、気候、場所、人口密度、だんぜん住みやすい気がします。刺激は他で求め、住むのは羽田。仕事がないのかなあ、田畑も近く、鋳物もあり、どう活かすか、どう考えるか、で仕事になりそうですけど。道も電車もある、“ちょうどいいスケール感”を活かし、少しずつ自分の周りをきれいにし、“うらやましい住みたいまち”にしたいです。
- ・羽田の魅力をアピールするにも、水沢駅と水沢江刺駅が離れすぎているし、アクセスも直通もなく来づらいし、水沢江刺駅前通りの表に何もない。コンビニとパン屋しかない。裏のお土産売場を表にオープンし、タクシー利用者の目に止まるようなアピールストリートがあれば良いと思う。付近の奥州市伝統産業会館もアピールできるし、鋳物のまちも見方が変わってくると思う。
- ・観光資源がないこともないので、その整備や周知は必要だと思うが、それで大勢人を呼び込めるほどではないと思うので、町全体の安全や暮らしやすさを高めていくほうが効果的だと思う。
- ・駅近くに田んぼアートを、そばに3階以上の駐車場をつくり、2階は駅まで歩いて行けてホームに直接行ける通路を、屋上には多目的広場や田んぼアートを見れるスポットを。大谷効果を作り出してほしい。

・川の堤防を強固なものにし水害のない町、田んぼを用途変更し住宅団地を造成し若い人が多く住めるまち、空き家をなくし、空き地もなくし、空き地に雑草もなく、道路は住民により清掃され、側道花壇には常に花があり、昼夜の治安が確保され、子供たちの笑いが聞こえる明るく楽しい羽田町にしたい。

・高齢者が増加し、様々な活動が思うように進まなくなっていると思う。若い世代と一体となって町を活性化できるような、そして、更に住みよいまちに発展していくためのイベントが必要だと考える。

・水沢江刺駅やZアリーナ、国道397号線等、羽田の外から人が来る地域なので、市と連携して、どういうまちを目指すか考えることが大事だと思う。

・今のままでも、新幹線駅があって住みやすいが、コンビニやスーパーなどが増えるともっと住みやすいと思う。他の駅前と比べて、飲食店もないし、ホテルもないので、駅前がさびしい。

・旧羽田幼稚園の活用（カフェや販売所などに利用）、重複するような団体の見直し（子ども会と育成会）、SNSを活用し、景観や活動などのアピール（刊行物だけでなく、町内で行われている事業や予定などを分かるように知らせる）、行政などの係や会長職を、何年も同じ方にならないようにする（マンネリ化防止）、忙しい年代とは思いますが、中高生が参加できるイベントをつくる。

・“羽田町にいる時間を多くすること”羽田町という町を知ってもらおう！興味を持ってもらうことが大切、大きな商業施設（イオン、コストコ、イケア等）集客のできる建物があるといい、水沢江刺駅付近にカフェ等あれば駅利用者に興味を持ってもらえる、若い方たちが住みたいまち、子育てしやすい町づくりが大切。

・駅前の通りを歩行者天国にして「クラフト市」を開催、キッチンカーを呼んでもいい、年2回ぐらい、東和町のクラフト市を参考に。スーパーの誘致、「オセン」でも。

・若い世代が住みたいと思うまちづくり、「昔はこうだった・・・」の考え方はもう通用しない。

・久保公園・向畑公園をみんなが使えるようにして、子供も大人も運動できるように。

・子どもや若い人が住み心地の良いまちにし、人口を増やすことが重要。

・大谷翔平に係わる鋳物の手形や南部鉄器（鉄瓶）を利用し、産業会館（駅前）に全国から人が見に来て、全国に広めてほしい。

・町民ボランティア組織を立ち上げては？月1回のボランティアの日を決め、各行政区で困っているところに対応する、誰でも参加できるようにする。

・先進地の事例を取り入れ、振興会の各組織が、市や農協、商工団体の協力を求め具体策を作成し、地区民の全員参加で推進する。

・指導者を育成し、活気あるまちづくり。鋳物組合は、外部から新しい人が入り、新商品開発と大谷ブランドを活用して、鋳物を紹介するなど、鋳物の価値を再認識させた。引き続き、支援をお願いしたい。若い人の「能力は無限」で、時として「とてつもない能力を発揮する」を共有し、指導者の育成に「力を注ぐ」ようではありませんか。

・江刺工業団地に参入する企業と連携して、水沢江刺駅から工業団地までのルート上に住宅団地や商業施設を充実させる。羽田町出身者で中央で事業を行い、又はそれなりの地位にある人にUターン・ふるさと回帰を訴え、出身地の活性化に協力してもらおう。

・水沢江刺駅の大通りの並木通り及び反対側の並木通りをライトアップして明るくし、ベンチ等を設ける。電源は太陽光を利用する。春、秋のライトアップはすばらしい。鉄器祭り等にも利用する。

・水沢江刺駅での乗降客が多くなるよう「〇〇年の歴史を持つ南部鉄器の町」、「大谷翔平誕生の地、資料館で握手しよう」など、新幹線から見える位置にPR看板又は横断幕を設置したい。大谷翔平については、徒歩圏内に握手像、胆沢図書館にあるような歴史年表、新聞の切り抜き、関連本を展示した資料館の新設を望む。

・新小谷木橋、Zアリーナ、アテルイ・モレ、そして南部鉄器があるが、これを有機的に組み合わせ、1本の流れとなるように作り上げていくことが必要かと思う。

・自治会、町内会の在り方を全体的に見直さないと、外からの人は来ないと思う。社会が変化しているのだから、役員等の役割を外部委託するなど、住民に負担がかからないようにすべきだと思う。

・今はネットで自分で学ぶ時代。そう考えると働く場、住む場としての魅力がほしい。鋳物産業、農業等で働く人を支援し、羽田に住む。そのために、就労支援（鋳物産業、農業等）と空き家対策、新幹線を使った旅行支援（ツアー）を望む。

・羽田について考えるプロジェクトチームを作るのは良いと思う。及富や及源に他から人が来ているので、もっと他にも寄りたいたいと思える場所を。

・伝統芸能など、羽田地区には他にはないものがたくさんあると思う。それを盛り上げていって発展していけばよいと思う。

・人口減少、ライフスタイルの変化で、イベント等への参加は難しい状況と思う。規模縮小、廃止を進めていくべき。今の若い人は、昔と違ってお金も時間もない。若い人の負担を強いることのない町にしてほしい。

・子どもが住みやすい環境になれば、若い人たちも移住してくるのでは・・・。高齢者も大事だが、若い人たちがいなければ生活しにくいと思います。何かに特化したまちづくりをしてほしい。

・若者と高齢者が普通にコミュニケーションできるようなイベントの開催を企画しては。

第3次コミュニティ計画アンケート結果 D 羽田のまちづくりや、地域の振興

・高齢者が多く、コミュニティ活動、防犯面、防災面で不安にかられる。
・温暖化による洪水が多発している。地域全般の現状を確認し、対策を必要とする。
・水沢江刺駅から北西の水田地帯を住宅団地化、羽田は水沢江刺駅並びにその駅通りを中心に街づくりをする。「平坦な住宅地域と丘陵地が北から伊手川、人首川、北上川、小田代川、太田代川に囲まれ、比較的平坦地が狭い町、新幹線駅のある町、鋳物産業等工業技術・技能のある町、Zアリーナ等大型スポーツ施設がある町等」の条件で、AIに将来あるべき町の姿を予想してもらう。
・ふと、羽田の将来に目を向けるのは、年老いた退職して日々余裕を持っている方だけなのは・・・とってしまう。若い人にまちづくりに手を貸してほしい。
・躍進まつりにキッチンカーや露店等を入れて、グルメコーナーを開催してはいかがか。
・旧羽田幼稚園の跡地を未就学児から中・高生までなど、幅広く利用できる場所にする。ゆくゆくは、地域の高齢者にも協力してもらえれば、全世代で交流できるのではと思う。
・「ニュータウン」の形式を。そのためには、田を使うことも仕方がない。地域の振興＝人口が増えること。
・防災対策をハード面で進め、有事に備えて、組織的な動きができるように常に準備しておく必要がある。
・高齢者が多いからといって、高齢者優先のまちづくりをしては未来は無い。もっと、子どもや若者世代にとって魅力あるまちづくりを展開すべき。
・羽田の低地部は水害の危険が大きいいため、日ごろの予防処置の備えが必要である。山間部は山火事の危険がある。
・「鋳物太鼓クラブ」羽田小学校4年生が取り組んでいる。中・高生、一般の方などで鋳物太鼓に取り組みたい人を募って、定期的な練習会や鋳物祭り、躍進祭りなどでの発表はできないのか。
・若い人が少ないわけではないが、行事や会議等はいつも年配の方ばかりが参加していて、若年層の意見等が全くもって上がってこない。活性化されていない。
・コミュニティとは、地域住民の心のつながりがある地域なそうです。心のつながりができるような活動を盛んにすることが、地域振興の基本ではないでしょうか。
・町内の子どもが全員集まれるイベントが必要。各子ども会での取り組みは限界。羽田小学校又は地区センターで夏祭りや秋のお祭りを。
・町民参加型のイベントができればよい。イルミネーションのような街中を明るくするのもよい。
・自治会レベルで季節ごとに懇親会を開き、集落単位での親睦を図る。
・鋳物産業とタイアップした事業を実施すること。各種団体と連携し、担い手を確保し、事業の重点化を図ること。中山間地における農業法人化の推進を図ること。
・鋳物の町、新幹線駅の町を、2本の柱としてまちづくりをしたい。
・将来のために子育てしやすいまちをつくるべき。産婦人科や小児科などの施設の充実。保育園などの再建も・・・。地区センター、Zアリーナなどでも主に子どもの居場所をつくる。
・観光とPRを兼ねて、鋳物で作成した「オブジェ」を町内の要所、要所に設置し、散策できるコースをつくる。
・公共交通機関について、路線バスはあるが、通っていない所もあり、運転免許を返納した人の外出が困難である。低価格でのタクシー利用などの対策をお願いしたい。
・高齢者、独り身世帯に対する支援、子育て世帯に対する支援が見えない。商業施設、企業誘致も考える必要がある。
・老人・子ども・若者が集える施設を作る。例えば、産直と老人ホームと学童を合わせたような施設はどうか。災害時の避難場所としても利用可能にする。
・高齢化が進み、地域活動の低下が心配。行政区から出す役員数が多いのではないかと？
・山・平地・川沿いと自然豊かではあるが、老若男女の住む環境が変わり、個人的に情報収集が広がり、無関心さがある。ネット社会なので、いろいろとアプリ等を活用すれば・・・。
・水沢江刺駅周辺の広い範囲が浸水想定区域になっているが、特段に対応が取られていない（避難誘導標識等）ように見えるのが気になっている。
・地域包括ケアシステムを用いて、地区民との交流ができる空間があればと思う。高齢化が進み、それによつての不安・相談をしやすいようにできればと思う。
・運動会の内容の見直しが必要である。高齢者増、子ども減少の状況下、地区対抗は厳しいのでは？地区民スポーツ交流の場として、ニュースポーツ等を楽しんではどうか？
・防災について、行政区ごとに対応がまちまちなので、もっと地区民の安全・助けなどの対応を充実させるべき。
・奥州市のHP、水沢江刺駅のPRがしっかりしていない。もっと、水沢江刺駅のPRを望む。
・水沢江刺駅があるのに、奥州市の玄関口とは思えない。民間に丸投げするのではなく、行政も動かなければならない。
・高齢化社会になっている昨今、老人の健康づくりのためにも、老人向けのスポーツ（パークゴルフ等）の普及、大会の実施を計画してほしい。